

# 最先端の知識を習得し、水際で不正を阻止する ～税関の仕事をご紹介～

税関では、秩序ある貿易が行われるように、空港や港で密輸の取締りや関税等の徴収を行うほか、発展途上国の税関への国際支援を行う関税技術協力などの幅広い業務を行っていますが、理系の方が活躍しているイメージはないのではないでしょうか。

今月号では理系大学を卒業し、現在は一児の母として東京税関大井出張所で働いている桂 聖子さんにお話を伺いました。

月報編集部

## めまぐるしい環境の変化に対応する

——税関を目指したきっかけを教えてください。

私は理系で、大学では農学部、大学院では食品工学を専攻していましたが、学生時代は税関のことを知りませんでした。こうした中で税関を選んだのは、研究職だけではつまらないのもっといろいろしてみたいと思っていたところに、人事院の合同説明会で初めて税関業務について伺う機会があり、税関は分析の業務もできるし、それだけでなく、輸出入品の通関や不正薬物の摘発、貿易に関する途上国支援など幅広くいろいろできることを魅力に感じたからです。実際、異動は概ね二〜三年おきで、税関職員であれば誰でも、分析、検査、通関、麻薬探知犬のハンドラーなどあらゆる業務を経験する機会があります。

——現在の職務内容とこれまでの経験についてお聞かせください。

東京税関大井出張所で輸入通関の仕事をしています。当出張所では大井コンテナ埠頭に蔵置されている貨物の通関を行っています。輸入申告される品目によって部門が分かれており、私は食品と化学品を担当す

る部門で働いています。主な仕事内容は、輸入者が通関業者を通じて税関に輸入申告した内容の審査です。審査していて疑問があれば、電話で通関業者に問い合わせるだけでなく、実際に輸入貨物を検査して確認します。輸入品の関税率は「実行関税率表」の品目分類によって決まっていますが、品目分類は原材料や製造工程によって細かく分かれているので、貨物内容を詳細に把握する必要があります。品目分類の誤りが、何百万円という税額の違いにつながることもあるので、いつも丁寧に、慎重に審査しています。また、食品衛生法、医薬品医療機器等法や毒劇物取締法などの関税関係法令以外の手続を必要とするものであれば、その手続が済んでいるかも確認します。適切に申告されていることが確認できたら、輸入の許可をします。大井出張所には年間五兆円を超える輸入申告があり、多忙ですが、貿易の第一線という活気ある雰囲気の中で仕事をしています。

以前に経験した主な仕事としては、東京税関東京外郵出張所での国際郵便物の通関に関する仕事や、財務省関税中央分析所及び東京税関業務部分分析部門での化学分析に関する仕事があります。分析の仕事を具体的に説明すると大きく分けて二つあり、品

目分類のために成分を明らかにする分析と、通関部門や検査部門などで不審な貨物を発見した場合に、覚醒剤などの不正薬物であるかどうかを鑑定する分析があります。

——複数の官署での経験がありますが、前の仕事が活かせることや異なることはありますか。

通関の仕事についてですが、入関して最初に配属された部署は東京外郵出張所という国際郵便物の通関を専門に行う部署でした。今は大井出張所で、コンテナ船で東京港に入ってくるような、郵便物よりもっと大規模な貨物の通関をしています。東京外郵出張所での仕事では、貨物を実際に目の前に置いて、内容を確認したり検査したりしますが、大井出張所の通関の仕事では、申告書類で審査する貨物は基本的に蔵置場にあつて、目の前にありません。それが大きな違いです。また、現在は部門ごとに担当が分かれているため食品と化学品を見ているのですが、東京外郵出張所ではバッグや靴など全ての品目を見ていましたので、これも大きな違いです。東京外郵出張所で、毎日、いろいろな貨物を見ていたので、不正薬物が隠置されていそうな貨物を雰囲気を感じられるようになったり、商品学の知識

が増えて申告価格の妥当性を見分ける能力が身についたりしたと思います。その経験は、現在の通関の仕事に活かしていて、今の仕事でも、疑問に思うことがある時は実際に貨物を見るようにしています。

——仕事をする上で留意していることや心掛けていることはありますか。

世界情勢の変化に応じて税関は的確に対応を続けており、常に最先端の知識が求められているのですが、その知識を正しく通関業者に説明できなくてはいけないので、しっかりと頭に入れておくことに留意しています。例えば、日本と他国の間で新たに経済連携協定が結ばれたり、電子化されて一部の輸入手続がオンラインでできるようになったりすると、通関の現場での仕事も変わりますので、めまぐるしい環境の変化に



桂 聖子 さん

——輸入許可というのは、それぞれの職員が単独で行うのでしょうか。

貨物の引取りを急ぐため分析結果を待たずに許可を受けられたり、原産地証明書などの必要書類を許可後に提出できたりする「事後審査扱い」など、特別なものでない限

的確に対応できるように、新しいことは納得するまで勉強して備えています。

また、通関の仕事で大事にしていることは、正確性とスピードです。税関が輸入を許可すると即、内国貨物になるので、許可をするというのは責任重大で、私はいまだにドキドキしながら輸入を許可しています。最後の砦という税関の性格上、正確性を求められているのももちろんなのですが、それと同時に、円滑な貿易のために、スピードもすぐ求められています。通関業者から電話がかかってきて「今日中に納入先に入荷したいので早く審査してください」と言われ、しかし机の上には許可を待つ申告書類の山が……という状況もしばしばです。問題のない貨物に関しては物流を滞らせることなく迅速に通関し、何か不自然と感じるもののみ、重点的に審査するという感じで、緩急をつけて仕事をするようにしています。

りは自身の判断で許可することができ、採用一年目でもそれは同じです。責任は重大です。ただ、不安がある場合は他の職員に意見を聞いたり、相談したりすることができ、一人で仕事をしているというプレッシャーが非常に強いということはありません。

——相談しやすい環境のようですが、職場の雰囲気はどのような感じでしょうか。

現在の職場は女性が多いことが特徴かもしれませんが。大井出張所の職員の約四割が女性で、私の部門も一二人中約半数が女性です。部門の課長職である統括官は育児経験がある女性で、「子どもが保育園のうちは早く帰ってあげてください。小さい子を持つお母さんがまず優先です。」と言ってくださいます。男性職員も、ごく普通に育児休業や子の看護休暇を取得していることもあり、家庭的なあなたたかい雰囲気、私が子どもの発熱などで急に休まなくてはならなくなってしまう時にも、いつも優しくフォローしてください。

ただ、育児中の職員への理解があるとはいえ、私の退任後、部門の方は忙しい中、私の案件について代わりに対応してくださっていますので、迷惑を最小限にとどめ

関業者の、年齢も上の方たちには是正をお願いするのはなかなか難しいです。私が「できればこれを添付してほしい」とお願いしたことが「必ず添付しなければならぬ」というニュアンスで伝わってしまい、法的根拠がないと名指しでクレームを受けたこともあります。接遇は上司に見習うことが多く、上手くコミュニケーションを取りつつ言うべきことはしっかり言う姿を見るとさすがだなと思います。私も暖味な表現は使わず、分かりやすく丁寧な対応を目指しているところです。

——これまでで最も印象に残っている仕事は何でしょうか。

東京外郵出張所で、国際郵便物内に隠匿された不正薬物を摘発した時のことが印象に残っています。先輩方が経験で培った「こういう貨物には注意」といういろいろなリスクインジケータを教えてもらい、膨大な量の国際郵便物の中から不審なものを選んで選り出して摘発しました。その場で試験による仮鑑定を行うのですが、反応があった時には緊張と感動で手がブルブルと震えたことを覚えています。私が東京外郵出張所で働いた三年間で、何度か摘発をすることができました。

るよう、引継ぎを具体的かつ分かりやすくするように心掛けています。

### 麻薬の分析から国際関係まで幅広い仕事

——これまでの仕事でやりがいを感じたのはどんな時ですか。

東京税関業務部分析部門で危険ドラッグの分析研究に携わり、危険ドラッグの蔓延を水際から阻止することの一助を担えたことにやりがいを感じています。税関の分析部門では、覚醒剤や大麻などの不正薬物の鑑定のためと、輸入貨物の成分を確かめるための主に二つの目的で化学分析を行っており、私は不正薬物の分析を行う部門で働いていました。ここでは鑑定だけではなく、新たな分析手法の研究もしており、関税中央分析所において、毎年、研究発表も行っています。危険ドラッグというのは、規制薬物や指定薬物の化学構造を少しだけ変えつつ、薬理作用を残した薬物です。研究では危険ドラッグを化学合成し、特定の化学構造を持つものについての分析データをまとめました。最近では危険ドラッグに関係したニュースが増えていますが、ニュースを見る度に、健康だけでなく社会にも計り知れない悪影響をもたらす危険ドラッグ蔓延の阻

——今後の目標はありますか。

関税中央分析所で働いていた時、先輩が分析機器の使用方法を指導するためにモルディブに行ったという話を聞いて、私も将来は発展途上国の税関の役に立つことができれば良いなと思ったことを契機に、発展途上国の税関への国際支援を行う国際協力事業に興味を持つようになりました。貿易が円滑に進むためには、日本の税関だけ制度が整っていても意味がなくて、貿易相手国においてもスムーズに通関できなくてはなりません。税関手続の国際的な調和や国際協力を進めるために、発展途上国の税関職員が日本に来て学んだり、日本の税関職員が講師として発展途上国へ教えに行ったりしています。私は今、オプシヨンの関係協力事業に関わっており、大井出張所に海外の税関職員が視察に来た時には出張所の概要を英語でプレゼンしたり庁舎内を案内したりしています。関税協力事業に本格的に携わるためには専門知識だけでなく英語も必要ですので、しっかりと身につけたいと考えています。幸いなことに税関では、英会話学校の通学補助などいろいろな自己啓発研修を斡旋しているほか、出張所内の研修も充実していますので、これらを利用して能力を高めていければと思います。

止に貢献できたことにやりがいを感じます。

また、税関の仕事全般に言えることですが、机上で密輸入阻止を考えるだけではなく、現場で自分の頭と体を使って密輸入を阻止し、国民生活の安全安心を確保した実感を得られることが醍醐味だと思います。

——これまで働いてきて苦労したことはありますか。

現在の仕事では通関業者の方と毎日コミュニケーションを取りながら仕事をしていきますが、接遇が難しいと感じています。通関業者に適切な申告を行うよう指導する立場ではありますが、まだ経験の浅い私が何年も通関業に携わっているベテランの通



申告書類の審査の様子

### 正義感にあふれる方求む！

——税関を目指す人に求めることはありますか。

正義感が強く、不正に対して怒りがわくような人が、税関の仕事に向いていると思います。税関の仕事は総じて不正を是としないものなので、不正に対して怒りがわくような人は前向きに仕事ができると思いますが、一方で、税関に課された責務が重い分、職員自身の服務規律の遵守も求められるので、高い倫理観を持つていなければ厳しい世界だとも思います。

入関前にやっていただいた方がいいこととしては、英語や通関に関する知識ももちろん必要とされますが、税関には研修や自己啓発で人材を育てていく風土があるので、知識は仕事をしながら補うことができますし、研修も充実しています。それよりも、仕事をしていく上で大切なのは、同僚や関係機関の方との円滑なコミュニケーションです。なので、学生時代もそれから先も、いろいろな分野の人と出会い交流し、ご自身のキャパシティを広げることがまず大事だと思います。